

仕入れご担当様

ご注文は、JRC へ

7月中旬刊行

(有) 伏流社

FAX 03-3294-2177

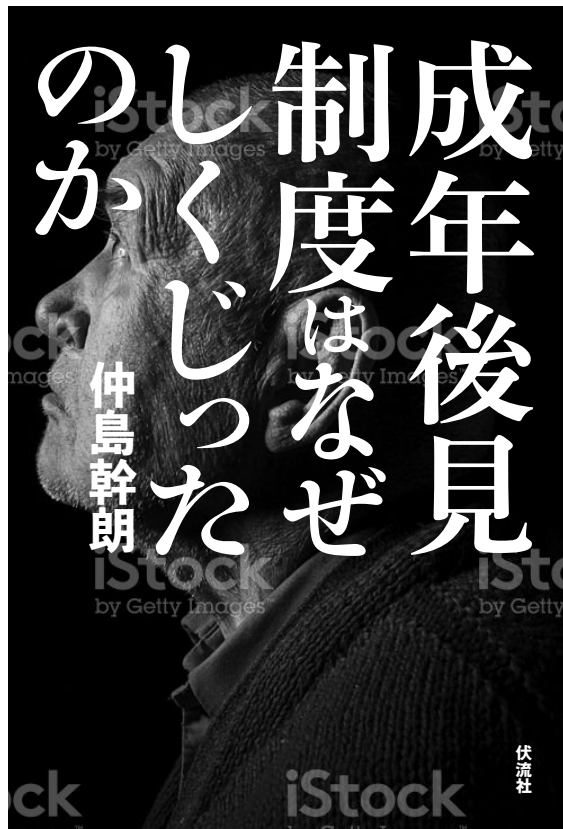
# 成年後見制度はなぜしくじったのか

四六判／並製 定価：本体1500円＋税 仲島 幹朗 著

成年後見制度が揺れている。親族からのクレームの噴出、「親族後見が望ましい」とする各家裁への**最高裁判所からの通知**（2019年3月19日朝日新聞朝刊一面、下記）、**国連による廃止勧告**（2022年9月9日、国連障害者権利委員会）。

そんな中、長年この制度の啓蒙普及につとめてきたNHKも姿勢を改め、「クローズアップ現代」（2022年11月14日）では、制度が抱え持つ問題に光を当て、「後見人はつけるべきではなかった」という被後見人の妻の悲痛な叫びに耳を傾けた。

同番組に出演し問題提起に積極的にかかわった著者が、番組では語り尽くせなかったこの制度の本質と利権に群がる人々の実態を描く。



仲島 幹朗（なかじま みきお）

1958年生まれ。中央大学法学部卒。司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士。これまで200件近くの後見人に就任。2022年11月14日、NHK「クローズアップ現代～親の金をどう守る認知症600万人の資産管理トラブル回避術」に出演。

著書：『おひとりさまが死ぬまで自立して生きるための本—成年後見人がいれば大丈夫』（パブラボ）2012（別名義）、『本当は怖い！成年後見—成年後見人には気をつける』（文芸社）2017、『残映—成年後見人が見た、それぞれの人生の「あとじまい」』（文芸社）2019、『落日の彼方に』（文芸社）2023（別名義）

※すべての取次から注文が可能です（JRC 経由）返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	成年後見制度はなぜしくじったのか 仲島 幹朗 著 ISBN978-4-9910441-7-5 C0036 本体1500円＋税
ご担当	様	